

# 介護職員初任者研修・ 子ども支援科

栃木県立県央産業技術専門校では、再就職を促進するために、ハローワークに求職登録をされている方を対象に、職業訓練を実施いたします。

1. **受講対象者** 公共職業安定所長の受講指示、受講推薦、支援指示が受けられる方
2. **定員** 15名（一般離転職者） 5名（ひとり親家庭の父母）
3. **訓練期間** 3か月 2019年11月1日(金)～2020年1月31日(金)  
 訓練時間 午前9時30分～午後4時10分（昼休み60分）  
 休日 **土・日・祝日**及び校長が定める日  
\*ひとり親家庭の父母は、事前の就職支援セミナーを必ず受講してください。  
2019年10月30日(水)～31日(木) 午前9時30分～午後3時10分
4. **訓練実施場所** 株式会社TBC福祉教育センター  
 宇都宮市南大通り2-1-2 TBC学院ビル7F（駐車場はありません）
5. **訓練内容** 別紙、訓練カリキュラム参照
6. **受講料他** 受講料は無料です。但し講習用テキスト代等(約8,500円)、健康診断料(5,500円)が必要です。  
 訓練生総合保険料(3,000円+振込手数料)は加入します。  
 その他費用(救急法基礎講習料1,500円、実技時使用備品150円)  
 消耗品・資格取得に係わる費用は受講者の負担です。
7. **募集期間** 2019年9月2日(月)～9月30日(月)
8. **選考日時** 2019年10月15日(火) **午後1時30分集合**（受付:午後1時30分～午後1時45分）
9. **選考会場** 栃木県立県央産業技術専門校（本館3階 視聴覚教室）電話028-689-6380  
 宇都宮市平出工業団地 48-4(車の方は本校グラウンドに駐車してください)
10. **選考方法** 提出書類・適性試験(30分、50問)・面接試験の結果により、総合的に選考します。
11. **その他**

- ①指定の入校願書及び履歴書にご記入の上、住所を管轄する公共職業安定所に申込をしてください。
- ②選考には、筆記用具等、雇用保険受給資格者証(雇用保険受給者)を持参してください。辞退する場合は電話連絡をしてください。
- ③応募者が少ない場合は、訓練を中止する場合があります。予めご了承願います。

## 訓練実施場所

株式会社TBC福祉教育センター  
 宇都宮市南大通り2-1-2 TBC学院ビル7F  
 電話 028-651-2171



# 訓練カリキュラム

株式会社TBC福祉教育センター

訓練科名	介護職員初任者研修・子ども支援科 (11月コース)		訓練終了後 に想定される就職先	老人福祉施設 老人保健施設 訪問介護事業所 障害者施設 病院 通所介護 通所リハビリテーション こども通所サービス保育所 認定こども園 小規模保育所 家庭的保育所 事業所内保育所
訓練期間	2019年11月1日～2020年1月31日 (3ヵ月)			
訓練目標	介護職員初任者研修と子育て支援研修の学習を通して介護に関する正しい基礎知識を身につける。現場上司の指示を受けながら訪問介護及び施設介護の基本作業ができる広い視野を持った即戦力として、さらに子育て支援員として介護・子ども業務関連への就職を目指す。			
訓練内容	科目	科目の内容	訓練時間	
	学	<p>オリエンテーション 就職支援</p> <p>職務の理解 介護における尊厳の保持・自立支援 介護の基本</p> <p>介護・福祉サービスの理解と医療との連携 老化の理解 介護におけるコミュニケーション技術 認知症の理解</p> <p>障害の理解</p> <p>こころとからだのしくみと生活支援技術</p> <p>振り返り 修了評価 実習の理解 介護記録基礎講習</p> <p>子育て支援員研修</p>	<p>オリエンテーション・就職支援</p> <p>基本的理念の理解、アイスブレイク、業界研究・ジョブカード・履歴書作成・面接指導・就職講話・企業説明会・ビジネスマナー・仕事の現状と仕事理解、企業に関する情報袖手・合格する応募書類の作り方・自分自身の分析(自己開示)・企業面接会</p> <p>多様なサービスの理解・介護職の仕事内容や働く現場の理解 人権と尊厳を支える介護・自立に向けた介護</p> <p>介護職の役割、専門性と多職種との連携・介護職の職業倫理・介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護職の安全</p> <p>介護保険制度・医療との連携とリハビリテーション・障害者総合支援制度の理念およびその他の制度</p> <p>老化に伴うこころとからだの変化と日常・高齢者と健康</p> <p>介護におけるコミュニケーション・介護におけるチームのコミュニケーション</p> <p>認知症を取り巻く状況・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理・認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活</p> <p>障害の基礎的理解・障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、関わり支援等の基礎的知識・家族の心理、関わり支援の理解</p> <p>介護の基本的な考え方・生活と家事・快適な居住環境整備と介護・整容・移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・睡眠・死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護・介護過程の基礎的理解・総合生活支援技術演習</p> <p>振り返り・就業への備えと研修修了後に継続的な研修 修了テスト</p> <p>実技・実習オリエンテーション(服装・持ち物・注意事項等)</p> <p>介護記録の意義・目的、介護記録の重要性、事例に基づく介護記録の記載方法</p> <p>基本研修(子ども・子育て家庭の現状・子ども家庭福祉・子どもの発達・保育の原理・対人援助の価値と倫理・児童虐待と社会的養護・子どもの障害)共通科目(乳幼児の生活と遊び・乳幼児の発達と心理・乳幼児の食事と栄養・小児保健Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・地域保育の環境整備・安全の確保とリスクマネジメント・保育者の職業倫理と配慮事項)地域型保育(地域型保育の概要・地域型保育の保育内容・地域型保育の運営・見学実習オリエンテーション)</p> <p>介護現場における安全衛生</p>	6 36 9 12 9 12 9 9 9 6 16 5 1 8 6 41
実技	<p>こころとからだのしくみと生活支援技術</p> <p>介護総合演習 救急法基礎講習</p> <p>子育て支援員研修</p> <p>保育実習 介護実習</p>	<p>介護に関するこころのしくみの基礎的理解・生活と家事・快適な居住環境整備と介護・整容・移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・睡眠・死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護・介護過程の基礎的理解・総合生活支援技術演習</p> <p>介護技術総合演習</p> <p>傷病者の観察の仕方および一次救命処置(心肺蘇生、AEDを用いた除細動、軌道異物除去)等救急法の基礎</p> <p>基本研修(総合演習)共通科目(特別に配慮を要する子どもへの対応・心肺蘇生法・グループ討議)地域型保育(地域型保育における保護者への対応)</p> <p>地域型保育見学実習 施設サービス実習・訪問通所サービス実習</p>	62 18 6 11 12 36	
訓練時間総合計 339時間(学科194時間、実技145時間)				
機器設備	DVD、対模型、体温計、ストップウォッチ、血圧計、吸引器、洗腸器一式、介護機器、手洗い用具、毛布、運搬用具、ベッド、寝具一式、車椅子、杖、歩行器、ストレッチャー・環境整備用具、温室時計、モデル人形、弁尿器、ポータブルトイレ、浴室、ケリーバット、口腔模型、アイマスク、調理・食器一式、介護実習用品一式、被服実習用品一式 他			

## 訓練カリキュラム

株式会社TBC福祉教育センター

訓練科名	介護職員初任者研修・子ども支援科 (ひとり親家庭対象就職支援セミナー) (11月コース)	訓練終了後 に想定され る就職先	老人福祉施設 老人保健施設 訪問介護事業所 障害者施設 病院 通所介護 通所リハビリテーション こども通所サービス保育所 認定こども園 小規模保育所 家庭的保育所 事業所内保育所	
訓練期間	2019年10月30日～2019年10月31日 (2日間)			
訓練目標	企業が求める人材像や介護業界に必要とされている人材等を理解し、働くにあたっての基本的なコミュニケーション能力の向上を目指す。また、キャリア形成支援に重点を置き、個別カウンセリングを実施することにより自己理解と就職スキルの向上を支援する。			
訓練 の 内 容	科 目	科 目 の 内 容	訓練時間	
	学 科	就業の理解 介護業界が求める人材像、介護業界の現状 職業適性の理解 自己分析、自己職業適性の理解 コミュニケーションの基本 コミュニケーションの定義、コミュニケーションの目的、コミュニケーションの心構え 職業能力開発の理解 職業訓練・自立支援制度・教育訓練給付金・企業補助制度について	3 1 2 1	
	実 技	職業適性の理解 就職先に求める条件の整理、社会人としての職業観（個別カウンセリング）	3	
	訓練時間総合計 10時間（学科 7時間、実技 3時間）			
	機器設備			